

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年6月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年6月1日～6月30日）

- 調査期間：平成28年7月1日～7月25日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業24企業、製造業20企業、卸売業14企業、小売業33企業
飲食業14企業、サービス45企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

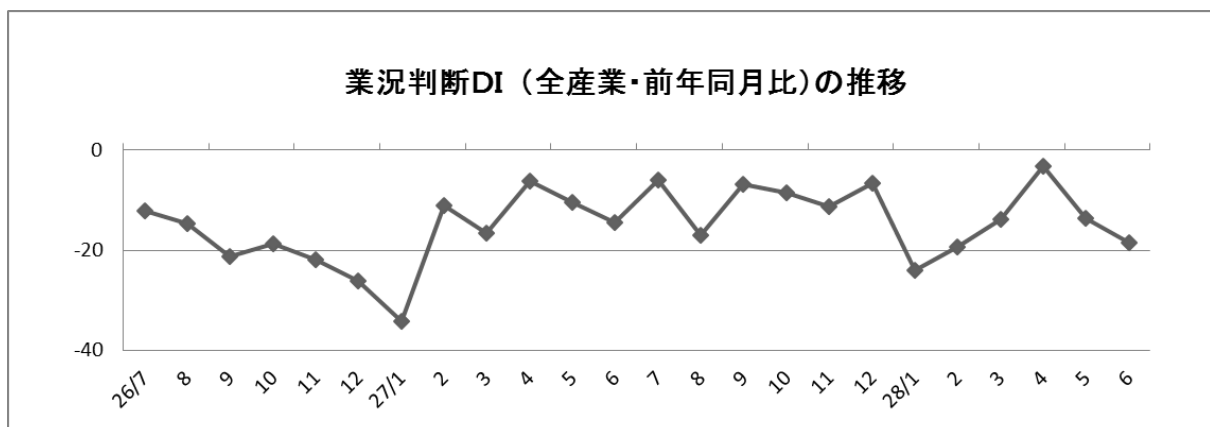
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲13.9）よりマイナス幅が4.7ポイント拡大し、▲18.6となった。業種別では、卸売業はマイナスから0となった。建設業はマイナス幅が縮小した。製造業、小売業、飲食業、サービス業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲18.6）よりマイナス幅が6.8ポイント拡大し、▲25.4となった。業種別では、製造業はマイナス幅が縮小した。卸売業、小売業、建設業、サービス業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	8.7 (12.6)	64.0 (60.9)	27.3 (26.5)	↓ ▲18.6 (▲13.9)	9.3 (9.9)	56.0 (61.6)	34.7 (28.5)	↓ ▲25.4 (▲18.6)
建設業	8.3 (8.0)	66.7 (64.0)	25.0 (28.0)	↗ ▲16.7 (▲20.0)	4.2 (8.0)	70.8 (72.0)	25.0 (20.0)	↓ ▲20.8 (▲12.0)
製造業	10.0 (23.8)	65.0 (42.9)	25.0 (33.3)	↓ ▲15.0 (▲9.5)	10.0 (14.3)	65.0 (42.8)	25.0 (42.9)	↗ ▲15.0 (▲28.6)
卸売業	21.4 (16.7)	57.2 (58.3)	21.4 (25.0)	↗ 0.0 (▲8.3)	14.3 (16.7)	50.0 (50.0)	35.7 (33.3)	↓ ▲21.4 (▲16.6)
小売業	9.1 (14.3)	60.6 (57.1)	30.3 (28.6)	↓ ▲21.2 (▲14.3)	12.1 (8.6)	42.4 (54.3)	45.5 (37.1)	↓ ▲33.4 (▲28.5)
飲食業	0.0 (0.0)	57.1 (66.7)	42.9 (33.3)	↓ ▲42.9 (▲33.3)	7.1 (13.3)	42.9 (53.4)	50.0 (33.3)	↓ ▲42.9 (▲20.0)
サービス業	6.7 (11.6)	68.9 (69.8)	24.4 (18.6)	↓ ▲17.7 (▲7.0)	8.9 (7.0)	60.0 (76.7)	31.1 (16.3)	↓ ▲22.2 (▲9.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲20.6）よりマイナス幅が4.6ポイント縮小し、▲16.0となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。サービス業、小売業はマイナス幅が拡大した。

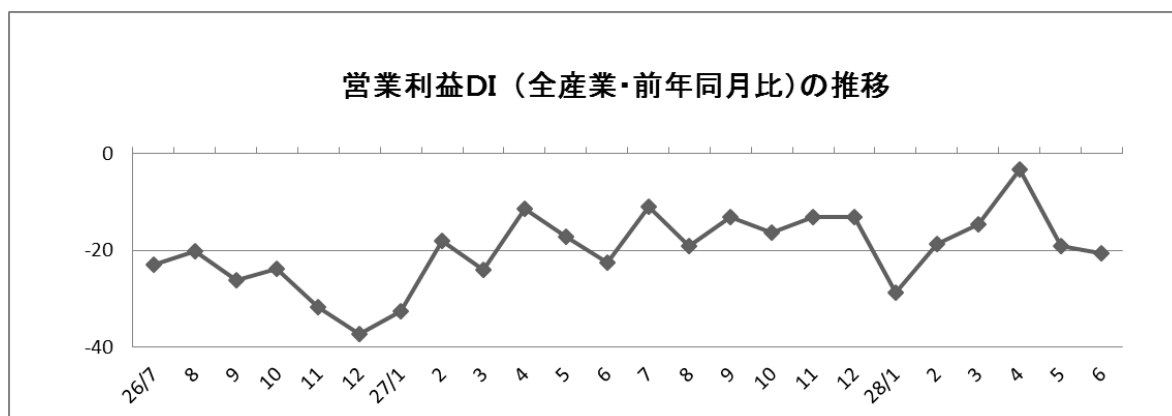


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲15.6	▲6.0	▲19.7	▲4.4	▲5.8	▲11.8	▲6.6	▲22.7	▲20.7	▲14.5	▲3.9	▲20.6	▲16.0
建設業	▲12.5	▲30.4	▲40.0	▲25.0	▲4.0	▲20.9	▲16.0	▲24.0	▲32.0	▲16.7	▲12.0	▲28.0	▲20.8
製造業	▲13.7	15.0	0.0	8.3	▲40.0	35.0	0.0	▲20.8	▲19.1	▲9.5	4.4	▲28.6	▲5.0
卸売業	▲18.8	▲11.7	▲11.8	5.9	▲6.6	▲18.7	▲21.5	▲28.6	▲6.2	▲13.3	▲15.4	▲25.0	7.1
小売業	▲27.0	▲18.0	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7	▲34.3	▲18.1	2.9	▲17.1	▲24.2
飲食業	▲7.1	▲12.5	▲11.1	0.0	7.2	▲28.6	▲6.2	▲6.2	▲38.5	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲35.8
サービス業	▲10.6	10.0	▲20.4	2.2	13.1	▲9.5	4.3	▲10.3	▲4.7	▲11.4	0.0	▲7.0	▲13.3

3. 営業利益DI（前年同月比）

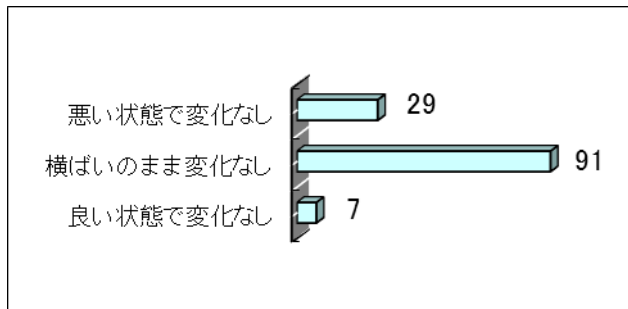
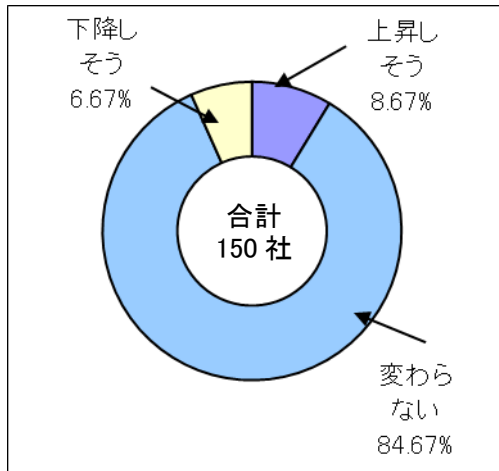
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲19.2）よりマイナス幅が1.5ポイント拡大し、▲20.7となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスから0となった。飲食業、製造業はマイナス幅が縮小した。建設業、小売業、サービス業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲22.5	▲10.9	▲19.1	▲13.2	▲16.3	▲13.1	▲13.2	▲28.7	▲18.7	▲14.5	▲3.2	▲19.2	▲20.7
建設業	▲33.3	▲39.2	▲32.0	▲33.3	▲36.0	▲20.8	▲32.0	▲40.0	▲48.0	▲29.1	▲4.0	▲24.0	▲25.0
製造業	▲31.9	15.0	▲17.4	0.0	▲30.0	20.0	▲5.3	▲25.0	▲9.6	▲9.5	▲8.7	▲14.3	▲10.0
卸売業	▲6.3	5.8	▲11.8	17.6	0.0	0.0	▲14.3	▲28.6	31.3	13.3	30.8	▲16.6	0.0
小売業	▲29.7	▲20.5	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3	▲34.4	▲18.1	5.9	▲22.8	▲27.3
飲食業	▲7.1	▲31.2	▲11.1	▲11.8	0.0	▲28.6	▲25.0	▲31.2	▲46.2	▲20.0	▲33.4	▲46.7	▲42.9
サービス業	▲17.1	0.0	▲18.1	▲13.7	8.7	▲9.5	▲4.3	▲17.9	▲4.6	▲13.7	▲6.7	▲6.9	▲17.8

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



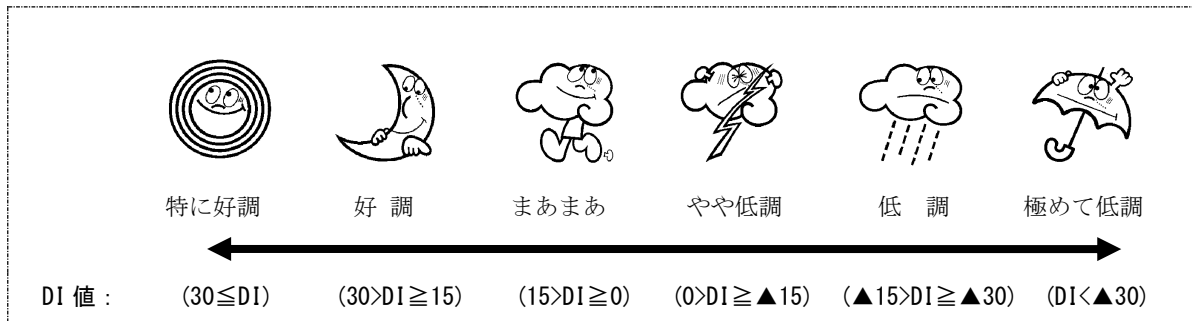
○平成28年7月～平成28年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.04ポイント増加し8.67%、「下降しそう」が1.28ポイント減少し6.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(12.5)、製造業(▲5.0)、卸売業(▲7.1)、小売業(0.0)、飲食業(7.2)、サービス業(2.2)であった。

➡「上昇しそう」では、「前月までが悪かったので、今後は良くなると思われるため」「公共工事の発注が始まるため」「公共工事の発注が増えそうのため」(建設業)、「受注量の増加が見込まれるため」(製造業)、「着工数が大幅に上昇したため」(卸売業)、「新規事業を始めたため」「努力が成果に結びついていると感じるため」(小売業)、「例年6月はあまり良くないので7月、8月に期待するため」「夏の観光シーズンが始まるため」(飲食業)、「山の日の全国大会があるため」「夏休みから秋の観光、婚礼シーズンに入るため」「夏休みにはいるため」「気温の上昇と共に活性化する業種であるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「EUの問題、円高のため」「中国経済の落ち込みのため」(製造業)、「環境が良くないため」(卸売業)、「来月の予約が少なく、また例年良くないため」(飲食業)、「受注が一段落したため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8
受注量	▲ 20.8	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0
受注単価	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3
営業利益	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0
見通し	▲ 8.3	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・地元の仕事が増えてきたように感じる。
- ・消費税増税が延期になったが、良い解釈をすれば今まで同様の経済が続き、悪く考えれば余裕が無くなったことにより、落ち込みはさらに厳しくなると思う。自分たちの足元をしっかり認識し、現実には則した経営をしていかなければならないと感じる。

電気工事

- ・夏場から需要増があり、各社でバラツキがある。
- ・当社は4月決算、6月申告となっているが、一番苦勞するのは消費税の支払いである。一年分の支払いとなるので大きな金額となり支払いに苦勞する。

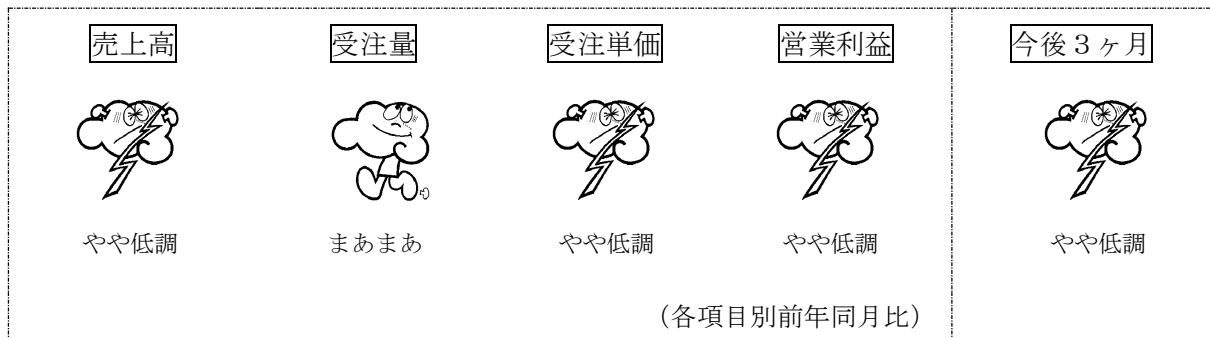
管工事

- ・大型物件が少なく、建築物件も少ないように感じるので、今後の見通しはできない。

建築工事

- ・横ばいの変化なしでも悪い状態ではないと感じたい。公共の入札が出てきているが、入札は確実にないのが苦しいところである。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0
受注量	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0
受注単価	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0
営業利益	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0
見通し	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0

<経営者の目・見方・e t c >

小型情報機器組立

・仕事量の変動が激しい。

金属塗装

・円高の動向、イギリスのEU離脱、中国の景気減速、原油単価の底打ち等心配事が多い。

酒類

・梅雨が特別大きな災害などなく過ぎたため、観光客の客足などには大きな影響がなかった。日本酒の純米酒系統は相変わらず人気集中しているが、全体としては普通酒と本醸造の消費量が落ち込んでいる。甘酒が小さなブームとなっており、健康によい発酵飲料として消費量が150%以上伸びている。夏のお中元商戦、冷酒の消費等、この夏は価格が伸び悩んでいるので、正念場となりそうである。

3. 卸売業



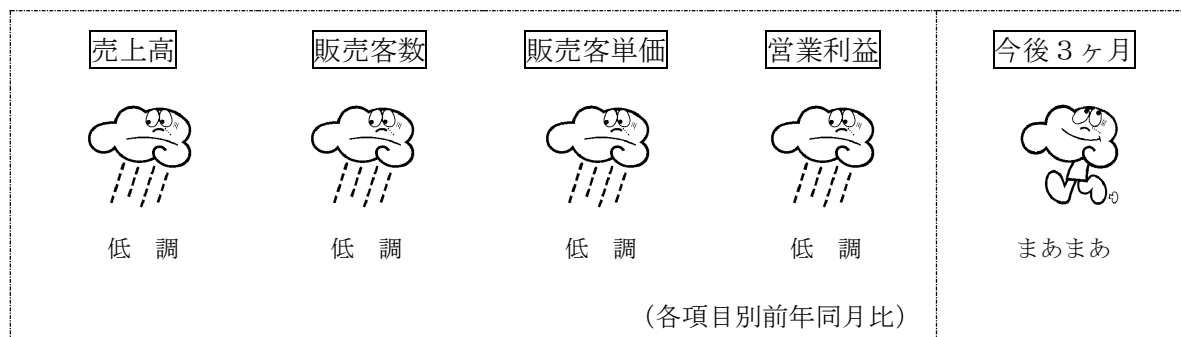
【項目別DIの推移】

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1
販売客数	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2
販売客単価	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0
営業利益	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0
見通し	▲ 6.3	0.0	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 機械工具
土産品
青果
金属製品
機械工具
- ・円高、株安、イギリスのEU離脱問題等のため、先行きがわからない。
- ・全体的には低調な状況だが、新規取引先などが増えた。海外仕入商品も円高の影響により増収に転じている。
- ・全体的に静かな月であった。果物、野菜共に気温が高かったことから、前進出荷となった。今後、小雨や高温の影響が見られる可能性がある。
- ・目先の仕事量はまだ少ないが、秋口の物件情報が入ってきており、夏以降動き出す。イオンモール物件のゼネコンは(株)大林組となったが、加工先がまだ決まっていない。
- ・売上は多少昨年より良いが、粗利率が下がっているため内容が悪くなってきている。そのため注文が競合して取りにくくなっている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

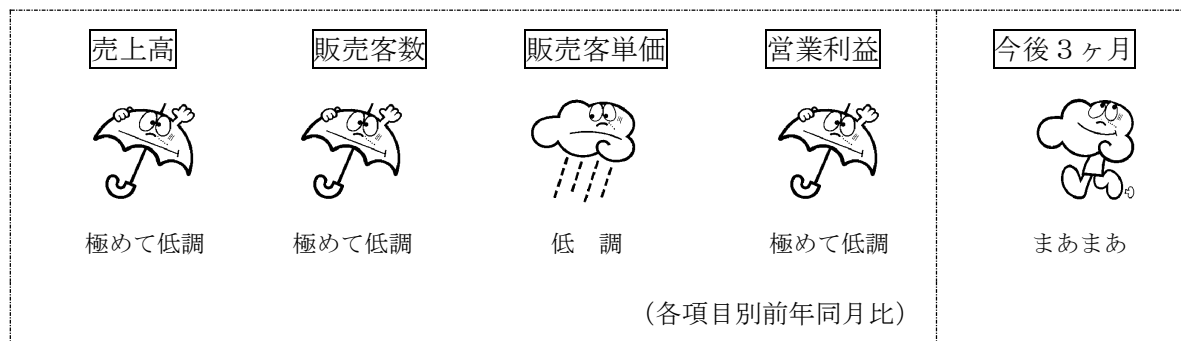
	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2
販売客数	▲ 24.3	▲ 10.3	▲ 30.6	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2
販売客単価	▲ 16.2	▲ 12.8	▲ 22.2	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 37.5	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1
営業利益	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3
見通し	2.7	▲ 7.7	2.7	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1	0.0	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- パン
- 化粧品
- 印章
- ・気温も高く、購買力も悪い。
- ・暑い日が続き不安定な売上だった。毎年暑くなる7月は少し売上が落ち込むが、それが早まった感じがする。
- ・博物館の移転先が公表された。外堀復元、内環状北線、信毎松本本社ビル等、中心市街地の将来像が少しずつ現実となってきた。今後、街のあり方、個店のあり方が問われ、輝ける松本を発信する基をつくるのは今だ！と感じる。
- ・需要の落ち込みが続き、同業の嘆きが大きくなっている。
- ・6月中旬に山梨で開催された業界の展示即売会は参加者が激減したそうだが、その半月前に金沢で開催されたあるメーカーの展示即売会は過去最高の人出であったという。地方開催の展示即売会の人出に「観光」が影響した顕著な例であろう。松本は、石川、富山、新潟から観光客を呼ぶ政策をとっているのだろうか。もし手を付けていないのなら、積極的に取り組んで欲しいと思う。

書籍・木のおもちゃ	・外商の売り上げはよかったが、店売がなかなか厳しい状態が続いている。打開策を考えて売り上げを伸ばしたい。
ショッピングセンター	・消費マインドは引き続き厳しく、特に衣料品においては購買意欲が低下傾向である。来客数に関しては増加傾向が続いており、天候も比較的安定していたため、全体的には順調な推移であった。
陶磁器	・空梅雨気味で、平年並の人出であった。イレギュラーな特注が続き、売上のには助かっているが、地元消費者の財布のひもは固い。観光客の比率が高まるばかりだが、外国人観光客に傾注して、日本人から敬遠されては元も子もない。
生鮮食品	・今月は父の日があり毎年売上が好調である。また今年も昨年より週末の売れ行きが良かった。来月に入ると仕入値が上がると言われている。
書籍	・今までの本業から今月は大幅に縮小し、副業を本業として本格的に営業を始めた。ネット投稿で同業店の300店の中で上位になったことが幸いして、業績は徐々に上がっている。努力あるのみ。
菓子	・観光都市、松本は外国人も含め車で多くの観光客が訪れる。今後、慢性的な交通渋滞が起こり、敬遠される街になることを怖れる。
観光物産	・梅雨期になり、外国からの観光客が激減した。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

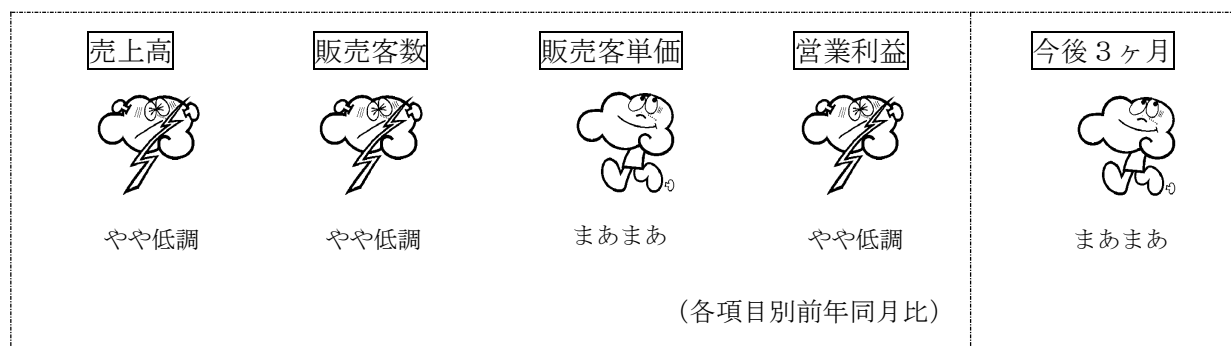
	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8
販売客数	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9
販売客単価	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6
営業利益	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9
見通し	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2

<経営者の目・見方・etc>

創作料理	・まとまった客数が得られず、少人数の予約が多かった。来月はイベントがあるため、自営に集中できず、多少悩んでいる。8月、9月も期待はできない。
寿司	・湿気が多く食中毒の起きやすい時期だ。食品ロス(ゴミ)を無くす為に残り物の持ち帰りを勧め、専用のパックを用意しているところもあると聞く。生ものを扱う寿司業界では危ない行為である。店側の許可を得て欲しい。

寿司	・県外からの観光客の方も含めて、全体的に客足は鈍いと感じた月であった。当月を含めて年々繁忙期と閑散月の差が多くなっていると感じる。今後もお客様動向の変化を見逃さず、先手先手の対応を心掛けたい。
そば	・毎年6月は良くもなく悪くもない。これからの夏場、秋のシーズンと期待している。
郷土料理	・前年比変動のない横ばいであった。SNS等をみて訪れる客、観光客もあまり多くはなかった。
料理	・日が長くなり、梅雨寒も続き、農繁期と重なったため暇な月だった。 ・人手不足が深刻な状態が続いている。ハローワーク等の求人や新聞も反響が少ない。飲食の仕事は不規則な時間や、長時間、立ち仕事といったイメージが影響していると考えられる。夏の繁忙期に向うにあたり不安が残る。
ラーメン	・世界経済の状況が良くない、イギリスのEU離脱がリーマンショックの状態にならないかと心配である。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3
販売客数	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5
販売客単価	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0	▲ 2.2	4.5	9.3	▲ 4.4
営業利益	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8
見通し	0.0	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲ 2.3	6.7	2.3	2.2

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備・	・円高、株安と世間に不安感がある。自動車関連には特に影響が出ると思われる。
板金塗装	この時期は平均的には暇であるが今年は特にそう感じる。
温泉旅館	・梅雨になっても、さほどひどい天気にはならなかったが、台湾の日帰り団体のバスも少なくなり全体的に入り込みが少なかったので、本当に静かな6月だった。一般の消費が減っている事と関係があると感じる。
温泉旅館	・天気に恵まれ、宿泊客が増大した。スポーツ、観光などで信州松本らしさが取り戻していければいいと感じる。
旅館	・今年は前年より、少し下降傾向にある。

ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊は、インバウンドの取り込みもあり好調である。宴会の動きは、勢いに欠ける。 ・春、夏の観光シーズンの狭間であり、連休など特別なイベントもないため、例年どおり比較的落ち着いた月となった。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・山の日を控え、PRも兼ね盛り上がり期待したい。 ・外国人観光客の動きが活発になってきた。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に低迷していた。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・紫外線から髪を守る商品やメニューをオススメして売上アップにつなげたい。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・約半数の車が、上高地方面の観光地での営業となった。天候が不安定なので客入りはまだ少ない。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・秋までは忙しさが続きそうである。また、イギリスのEU離脱の動向が気になる。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税も見送られ、それに伴う年度中の税率変更作業等、運用支援も特に見られない。基本的に都内からの大型案件を特有の多重下請構造で取り合う状況である。しかし、中小企業のIT投資額が上向き加減という情報もあるので、積極的に地元企業に対して提案活動を実施したい。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの関係で引き続きリネンサプライは好調である。労働力不足は慢性化している。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・客数、客単価、売上高、共に前年を上回った。梅雨入りしたが雨も少なく天候が良かったことが来店客数アップに繋がったと思う。
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・合併による「合理化」の影響が年々広範囲に及び、住民サービスが削減されていく。地域包括支援センターの統合など、市役所と住民のコミュニケーションが、弱体の一途である。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活に関する事業に反響があった。今後さらに向上すると予想する。

